

2020年10月29日

エリアリンク株式会社
証券コード 8914 東証第二部



2020年12月期 第3四半期 決算サマリー

■2020年12月期 第3四半期業績

3Q（3ヵ月）では増収増益トレンドへ転換、コア事業であるストレージ運用が牽引

(単位：百万円)	2019年1-3Q		2020年1-3Q			2019年3Q		2020年3Q		
	実績	売上比	実績	売上比	前年同期比	実績	売上比	実績	売上比	前年同期比
売上高	25,258	—	17,153	—	△ 32.1%	5,113	—	5,362	—	+ 4.9%
売上原価	19,418	76.9%	12,897	75.2%	△ 33.6%	4,004	78.3%	4,095	76.4%	+ 2.3%
売上総利益	5,839	23.1%	4,256	24.8%	△ 27.0%	1,108	21.7%	1,267	23.6%	+ 14.3%
販売費及び一般管理費	2,872	11.4%	2,445	14.3%	△ 14.7%	774	15.2%	712	13.3%	△ 8.1%
営業利益	2,967	11.7%	1,810	10.6%	△ 38.9%	333	6.5%	554	10.3%	+ 66.5%
経常利益	2,894	11.5%	1,727	10.1%	△ 40.2%	422	8.3%	510	9.5%	+ 21.0%
特別損益	△ 27	—	583	3.4%	—	△ 14	—	581	10.8%	—
税引前四半期純利益	2,867	11.4%	2,311	13.5%	△ 19.4%	407	8.0%	1,092	20.4%	+ 168.2%
四半期純利益	1,949	7.7%	1,586	6.9%	△ 18.6%	262	5.1%	756	14.1%	+ 187.7%

■2020年12月期 第3四半期 セグメント別概況

3Q（3ヵ月）：ストレージ事業は減収増益、底地事業は増収増益だが昨年の反動

ストレージ事業は減収増益の結果

・ストレージ運用 予算達成、増収増益を継続

ストレージ運用は売上高 35 億 47 百万円（前年同期比 10.2%増収）、事業利益は 6 億 27 百万円（同 49.0%増益）と大幅増収増益の結果。出店総室数が 98,732 室まで増加（19 年 12 月末+2,263 室 19 年 9 月末+2,730 室）。稼働率は 78.42%、3.59%pt 増（19 年 9 月末比）。コンテナ買戻し、地代減額要請による原価低減により売上総利益率が 4.7%pt 改善

・ストレージ流動化 自社投資へ移行したため減収減益も予算達成

売上高は 1 億 76 百万円と前年同期比で減収の結果。3Q（3ヵ月）では、土地付きストレージ販売 1 件、コンテナ受注 2 件を計上

土地権利整備事業：19年下期の反動により増収増益も、在庫圧縮の影響で予算は未達
 売上高は12億47百万円(前年同期比130.9%増収)、事業利益は1億1千万円(同159.1%)
 の結果。19年下期に販売を抑制した反動で増収増益も、在庫圧縮に向けて仕入を停止し、
 滞留在庫の販売促進により、予算は未達

(単位：百万円)		2019年1-3Q		2020年1-3Q			2019年3Q		2020年3Q		
		実績	売上比	実績	売上比	前年同期比	実績	売上比	実績	売上比	前年同期比
運用	売上高	9,506	—	10,416	—	+ 9.6%	3,217	—	3,547	—	+ 10.2%
	売上総利益	1,932	20.3%	2,425	23.3%	+ 25.5%	692	21.5%	930	26.2%	+ 34.4%
	営業利益	1,243	13.1%	1,561	15.1%	+ 25.6%	421	13.1%	627	17.7%	+ 49.0%
流動化	売上高	9,201	—	746	—	△ 91.9%	898	—	176	—	△ 80.4%
	売上総利益	1,589	17.3%	112	15.0%	△ 93.0%	145	16.1%	36	20.6%	△ 75.0%
	営業利益	924	10.0%	△ 79	—	—	14	1.6%	△ 10	—	—
ストレージ事業	売上高	18,708	—	11,162	—	△ 40.3%	4,116	—	3,723	—	△ 9.6%
	売上総利益	3,522	18.8%	2,537	22.7%	△ 27.8%	837	20.3%	967	26.0%	+ 15.5%
	営業利益	2,167	11.6%	1,482	13.3%	△ 31.6%	435	10.6%	617	16.6%	+ 41.6%
土地権利整備事業	売上高	5,160	—	4,730	—	△ 8.3%	540	—	1,247	—	+ 130.9%
	売上総利益	1,787	34.6%	1,275	27.0%	△ 28.6%	106	19.7%	177	14.2%	+ 66.8%
	営業利益	1,288	25.0%	889	18.8%	△ 31.0%	42	7.9%	110	8.9%	+159.1%
その他不動産 運用サービス事業	売上高	1,389	—	1,260	—	△ 9.3%	456	—	391	—	△ 14.2%
	売上総利益	529	38.1%	443	35.2%	△ 16.3%	164	36.1%	122	31.4%	△ 25.4%
	営業利益	412	29.7%	341	27.1%	△ 17.3%	123	27.1%	93	23.9%	△ 24.4%
管理本部	売上高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	売上総利益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	営業利益	△ 901	—	△ 902	—	+ 0.1%	△ 269	—	△ 266	—	△ 1.0%
全社	売上高	25,258	—	17,153	—	△ 32.1%	5,113	—	5,362	—	+ 4.9%
	売上総利益	5,839	23.1%	4,256	24.8%	△ 27.1%	1,108	21.7%	1,267	23.6%	+ 14.3%
	営業利益	2,967	11.7%	1,810	10.6%	△ 39.0%	333	6.5%	554	10.3%	+ 66.5%

■業績予想：通期業績予想の変更を発表、売上と当期純利益の予想を修正

(単位：百万円)	2019年12月期	2020年12月期	2020年12月期	前期比	直近予想比
	実績	従来予想	修正予想		
売上高	29,333	24,700	22,300	△ 23.6%	△ 9.7%
営業利益	3,030	2,300	2,300	△ 24.1%	—
経常利益	3,000	2,200	2,200	△ 26.7%	—
当期純利益	△ 1,753	1,300	1,700	—	+ 30.8%
1株当たり当期純利益(円)	△ 138.81	102.93	134.59	—	+ 30.8%

修正理由

2019年12月期に計上した買戻損失引当金について、当第3四半期に買取をしないことが確定したコンテナに対する引当金を取り崩し、買戻損失引当金戻入益の特別利益を計上。その結果、当期純利益は期初予想を上回る見込となったこと、また、土地権利整備事業において、市況悪化を見据えた底地の在庫圧縮に向けて仕入を停止した結果、売上が期初予想を下回る見込となった。一方で、ストレージ運用の収益性改善により利益率が改善したため、営業利益、経常利益は予想値を据え置き

■配当予想：予想の変更はなし

	2019年12月度	2020年12月度(予想)
1株当たり配当金	40円	31円
配当性向	—	23.0% ※

※19年にコンテナ買戻しの引当金計上に伴う特別損失を除いた実績をベースに配当を実施したため、上記引当金の戻り益についても影響を除いて配当を実施予定。実質ベースでは配当性向30.1%となる見込

その他のIR情報はこちら <https://www.arealink.co.jp/ir/> よりご覧いただけます。